

水辺の緑いっぱい作戦

令和2年10月23日

令和2年10月23日に三笠市立岡山小学校4年生の9名と一緒に「水辺の緑いっぱい作戦」を行いました。この取組みは、平成13年から三笠市内の小学生と一緒に続けており、桂沢ダムの湖岸に植物を植樹して緑いっぱいにするものです。

植樹の指導には、NPO法人近自然森づくり協会理事長の岡村先生に協力していただき、植物も呼吸しているため、長く水中にいと枯れてしまいますが、植樹する「タチヤナギ」や、「エゾミソハギ」は水中でも枯れにくいと話していました。

雨天により植樹は出来ませんでした。が、「エゾミソハギ」の苗床づくりや、種まき、2年成長させた苗床からポットへの移植を行いました。

また、当日は新桂沢ダム建設工事も見学しました。



岡村先生の話
真剣に聞く子供たち



種まき



「エゾミソハギ」の苗床づくり



2年成長させた「エゾミソハギ」の
ポットへの移植



作成した苗床と一緒に記念撮影

